

別記様式（第 5 条関係）

会 議 録

会議の名称		令和 8 年度第 1 回食育推進会議
開催日時		R8 年 6 月 29 日(月) 午前 10 時 00 分から 午前 11 時 30 分まで
開催場所		市立図書館 2 階研修室①
委員名		(1) 出席委員 梅木 陽子 城野 加代子 山村 裕一郎 児島 由美 古和 隆彦 松尾 祥子 田島 勝彦 中島 美香 林 チヨ (2) 欠席委員 花田 砂恵子
所管課職員職氏名		こども家庭部 部長 中村 雅美 子育て世代包括支援課 課長 朝長弘美 子育て世代包括支援課 保健指導係長 安部真理 子育て世代包括支援課 保健指導係 丸山 康子 子育て世代包括支援課 保健指導係 古谷菜々美
会 議	議 題 (内 容)	福津市食育推進計画策定に向けて (1) 基本方針について (2) 具体的な取り組みについて
	公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	1 名

	資料の名称	・資料 1 第 3 次食育推進計画策定に向けて (国との比較) ・資料 2 第 3 次食育推進計画策定に向けて (具体的な取り組み) ・資料 3 食に関する取り組みの現状と課題 ・資料 4-1 食のイベントカレンダー (令和 8 年度 参加できるもの) ・資料 4-2 食のイベントホームページ掲載内容 ・資料 5 各課の食育関連の広報掲載内容 ・食育に関する取り組みについて ・福津市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）抜 粋
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録
		☒ 録音テープを使用した要点記録
		☐ 要点記録
		記録内容の確認方法
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会の言葉

2. 部長あいさつ

3. 委嘱状の交付

4. 会長あいさつ

5. 自己紹介

6. 議事

- ・第3次福津市食育推進計画策定に向けて
(1) 基本方針について

(梅木会長)

それでは、議事に入ります。

議事1「第3次食育推進計画策定に向けて」(1)基本方針について、事務局より説明をお願いします。

(事務局丸山)

資料1をご覧ください。

骨子の箇所は国と市の比較になります。昨年度第2回会議で第3次計画の骨子について皆さまにご意見いただいた箇所、また、国の第5次食育推進計画も参考に、市の方針と取組みについて事務局及び食育推進プロジェクト会議で再検討致しました。

水色の箇所は国の計画で、左端から国の第5次食育推進基本計画の重点項目、左から2番目が国の具体的な施策案、左から3番目が国の目指す姿、左から4番目が国の目標になります。

その隣白色が、市の目指す姿、白の左から2番目は市の基本目標、白の左から3番目が1次計画の基本方針、その隣が2次計画の基本方針、ピンク列が3次計画の基本方針案になります。

市の計画案では、国の内容をほぼ網羅していましたが、その表現については時代の流れもあり修正が必要な箇所もあります。

なお、緑文字は過去に修正した箇所、赤文字は市の第3次で修正及び追加案の箇所、青文字は国に記載はあるけれども、市の方針に記載がない箇所になります。

1 ページの内容について右端ピンク列の第3次基本方針案の「食を通して地域を知る」と「地元でとれたものをおいしく食べる」は変更ありません。

2 ページの右端ピンク列をご覧ください。

前回会議で、「若い世代が健康や食への意識を持つ」の「若い世代」を「全世代」に戻すことで了承いただきました。

しかし、そうすると2番目の「規則正しい生活リズムを整える」と3番目の「健康長寿につながる健康的な食習慣を身につける」の取組み内容が重複することになるため、3つの方針をひとつにまとめ「健康長寿につながる健康的な食習慣への意識を持つ」にするという事務局からの提案です。

3 ページ右端ピンク列をご覧ください。

「食への感謝の気持ちを育てる」と、「食文化を次世代へつなげる」は変更ありません。

4 ページ右端ピンク列をご覧ください。

上から2番目の「地域の自然環境をみんなで守る」は、前回会議で取組みに食品ロスのことしか記載がなかったため削除し、「食に関する正しい知識を身につける」と一緒にするという事務局案でしたが、ワンヘルスや、自然景観も含むため、この方針は残した方が良いと皆さまよりご意見をいただきました。

確かに、第1次計画では幅広く取組み記載があり、令和8年に策定された「福津市地球温暖化対策実行計画」にも、ここに関わる内容の掲載がありましたので、再度、庁内プロジェクト会議で検討した結果「地域の自然環境をみんなで守る」は削除せず、取組み内容を見直すことにしました。取組み内容につきましては、資料2でご説明いたします。

5 ページ右端ピンク列をご覧ください。

「行政・学校・ボランティア・関係団体の連携を強める」と「これも食育の啓発」は変更ありません。

(梅木会長)

ただいまの件について、ご意見、ご質問のある方は挙手をお願いいたします。

前回の会議を受けて訂正があるとのことですが、次の取組みの所で詳しく説明があるとのことですので続けてよろしいでしょうか。

では、続きまして、議事1の(2)「具体的な取組みについて」事務局より説明をお願いします。

(事務局 丸山)

資料2をご覧ください。

真ん中のピンク列が、資料1で只今説明いたしました市の3次基本方針案です。

その右隣が2次の具体的な取組み、一番右端ピンク列が、3次の具体的な取組み案です。

赤文字が修正及び追加案、緑文字は過去に修正した箇所、横線で削除している箇所が削除案です。

1 ページの右端ピンク列の、第3次の具体的な取組みは変更ありません。

2 ページの真ん中ピンク列をご覧ください。

先程説明した箇所になります。3つの基本方針「若い世代が健康や食への意識を持つ」と「規則正しい生活リズムを整える」と「健康長寿につながる健康や食習慣を身につける」をひとつにまとめ、「健康長寿につながる健康的な食習慣への意識を持つ」へ変更案を出した箇所です。

右端ピンク列の具体的な取組み案で、左隣の白色列の2次の取組みから修正した箇所は赤字になります。

行動目標の

①規則正しい生活リズムを整えましょう。

②生活習慣病予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や適塩等に気をつけた食生活や運動を実践しましょう。

は、表現を減塩から適塩へ変更しています。

⑤ 毎日果物を食べましょうは、追加案です。果物に関しては、国の目標値1日200gに対し、2024年の国民健康・栄養調査によると日本人の20歳以上の1日当たりの果物摂取量の平均は78.1gと低い結果で、国は指標に入れている箇所になります。なお、福津市の令和4年度のアンケート結果では、果物摂取が不足と感じている市民の割合は73.1%となっています。

200gの果物目安は、中位のりんごなら約1個、みかんなら2個程度に相当します。

⑥よく噛んで食べることを意識しましょうを追加し、⑦の毎年歯科健診を受けましょう。に関しては、健診は歯科に限らず大切なので歯科という言葉削除しています。

真ん中辺りの赤字、減塩という言葉は、県や市でも適塩を推進していますので、適塩に変更しました。

真ん中より下の横線で消した箇所、「早寝・早起き・朝ごはんのキャンペーン」は、推進はしていますが、現在キャンペーンまで展開していないため削除しています。

下から4行目の削除している、思春期のダイエット指向は、思春期に限らず、どの世代にも関係する「痩せすぎなど」へ言葉を変更しています。

下から2番目の、情報発信に関しては、5ページの「これも食育」の所に加え、ここでは削除しています。

一番下の赤字、食の確保に困難な高齢者に栄養のバランスの整った食事を提供しますを追加しています。

3 ページ右端ピンク列をご覧ください。

「食への感謝の気持ちを育てる」の取組みは2次と変更ありません。

3 ページ真ん中辺り「食文化を次世代につなげる」の取組みでは、1ヵ所修正がございます。右端ピンク列の下から2行目「親子料理教室等で、食に関する作法の継承など、家庭への食育の広がりを促進します」は、現在作法に関して促進していないため削除案の箇所になります。

4 ページ右端ピンク列をご覧ください。

「食に関する正しい知識を身につける」の右端ピンク列の取組みで、赤字の「災害時に備えた食品の備蓄等の知識を普及する」を追加しています。食育市民アンケート結果で「災害時に備えた食品の備蓄等の知識」は、意識の低い箇所でしたが、必要なことなので追加しています。

その下、「食物アレルギーに関する正しい知識の普及」は、アレルギー品目は変わっていき、重要なことなので追加しています。

4ページ下の「地域の自然環境をみんなで守る」の取組み案についてです。本日配布した資料「福津市地球温暖化対策実行計画」を一緒にご覧ください。内容は、「福津市地球温暖化対策実行計画」に合わせ修正しています。

行動目標（みんなができること）

【削除】

①「もったいない」の精神で食べ物を無駄にしないよう心がけましょうを削除しています。

【追加】

- ①3キリ運動（食べキリ・使いキリ・水キリ）を実践します。
- ②食べきれぬ分だけを購入し、食事は食べ残しを減らすなど食品ロスを削減します。
- ③外出時はマイボトルを持参し、プラスチック類の使用を抑制します。

具体的な取り組み

（生産者・事業者・保育所・幼稚園・学校・地域・ボランティア団体）

【削除】

○食品の「量り売り」や「ばら売り」など買い過ぎを防ぐ販売方法を推進します。

【追加】

- レジ袋やストローなどの使い捨てプラスチック製品の使用及び提供削減に努めます
- てまえどりなど食品ロスの削減を呼びかけます。
- 食品廃棄物のたい肥化など有効利用を検討します。

市の取り組み

【削除】

○料理教室の開催や広報等を利用して、食べ物を無駄にしない工夫の普及に努めます。

○水を汚さないことやごみを減らすことの大切さ等について周知します。

【追加】

○市広報紙や公式LINEなどを活用したごみの減量化の普及啓発をします。

○4R運動・3キリ運動（食べキリ・使いキリ・水キリ）の普及啓発をします。

赤文字の追加内容は、「福津市地球温暖化対策実行計画」の61ページ

（1）市民による取組み（行動）の下から2、3、4番目のチェック項目

（2）事業者による取組みの下から2、3、4番目のチェック項目

58ページの最初、ごみの減量化に向けた啓発より抜粋しました。

■福津市の広報紙や公式LINEなどを活用したごみの減量化の普及啓発

■4R運動・3キリ運動（食べキリ・使いキリ・水キリ）の普及啓発

4Rとは、リフューズ・リデュース・リユース・リサイクルのことです。

5ページ右端ピンク列をご覧ください。

「行政・学校・ボランティア・関係団体の連携を強める」取組みとして、横線で削除した箇所は、「食進会の会員獲得に努める」で、「食に関するボランティア等の取組みを発信する」に修正しています。食進会の会員獲得については継続していますが、現在、子ども食堂等のボランティア活動等をはじめ、食に関するボランティア活動は多様化していることから、表現を修正することとしました。

次に、5ページ下の「これも食育の啓発」の取組みでは、SNS等を利用した幅広い情報発信を追加しています。

（梅木会長）

資料1と資料2を見ながら皆さまよりご意見を伺いたいと思います。資料1の基本方針は修正なしということ、資料2の具体的な取組みで修正もありますが、皆さんよろしいでしょうか。

（田島委員）

資料1の1ページ、左端の国の基本的な方針の取組「党」の漢字が「等」の間違ってよろしかったでしょうか。

（事務局 丸山）

間違えていました。修正お願いします。

（田島委員）

資料1の2ページ、国との比較で、国は目標に「朝食の欠食を減らす」とわざわざ朝食に関して項目が1個あるのですが、これに対して市では「規則正しい生活リズムを整える」の中に「早寝・早起き・朝ごはん」朝食を食べるきっかけとなる記載はありますが、やはり、国が「朝食の欠食を減らす」とわざわざ記載があるということは、朝食を欠食することの弊害や朝食摂取の重要性や必要性を、もう少し具体的に記載した方が良いかと思います。

2 次の計画の 21 ページに「規則正しい生活リズムをつくる」とありますが、その下に朝食の重要性というのが記載ありますが、この辺りは後で記載されるのですか。

(事務局 朝長)

表現の仕方は、またこれからになります。

(田島委員)

アンケート結果の 11 ページに、男性の 30～39 歳の方が朝食を食べている割合が 50%と半分の方しか食べていないということもありますので、朝食の重要性も記載した方が良いかと思います。

(梅木会長)

只今、朝ごはんのご指摘がありました。資料 1 の 1 ページ目、国の個人目標に記載がある「朝食の欠食を減らす」という内容に関してご意見をいただきました。

市では資料 2 の 2 ページで取組の中で、「規則正しい生活リズムを整える」という記載が出てきますが、朝食の大切さについては重要な項目だと思いますので、推進基本計画の冊子の中にどう記載するかも合わせて、今後の課題とさせていただきたいと思います。

国の方針と同じように並べられないところがあり難しいところもありますが、どのように組み直すかということも、今後の課題かもしれません。

先ず資料 1 の基本目標「元気な地域をつくる」に関しての第 3 次基本方針案は、「食を通して地域を知る」と「地元でとれたものをおいしく食べる」で、それに対する具体的な取組に関しては、国もここは重点項目と定めるくらい大切な部分ですので、これまでと変わらず進めてまいりたいということですがよろしいでしょうか。

今後、ここから先どのように進めていくかという具体的な指標等に関して次回会議もありますので、またご意見が出てきましたらお聞きしたいと思います。

続いて、資料 1 の 2 ページ目、資料 2 の 2 ページ目になります。

事務局から提案があった点で、前回会議では、基本方針を「若い世代」から「全ての世代」へ変更し、「規則正しい生活リズムを整える」と「健康長寿につながる健康的な食習慣を身につける」はそのまま残すということで終わっていましたが、今回はここを 1 項目にまとめたいということです。ただ、1 項目とはいえ、かなりのボリュームの行動目標や具体的な取組みが定められている箇所です。

基本方針をひとつにまとめるということに関してご意見等ございましたらお願いします。

ひとつ気になったところがあります。元々の所は、1 項目は意識を持つで、2 項目と 3 項目目は行動レベルの内容の基本方針になっていましたの

で、ひとつにまとめた時に、意識を持つというレベルに止めて良いのかというところが気になった箇所です。もう少し実践まで進めるような文言の整理ができたらと思いました。例えば「意識を持ち実践する」などです。もう一步踏み込むと良いかと思いました。

ひとつにまとめるということに関し、皆さまよろしいでしょうか。

また、2つ目の私からの提案の実践まで繋げる文言にすることに関してもよろしいでしょうか。

(委員全員)

賛同

(梅木会長)

具体的な取組み内容はいかがでしょうか

(林委員)

気になったのが、「食の確保が困難な高齢者に栄養バランスの整った食事を提供します」というのは市の取組みでしょうか。具体的な施策はどんな内容を考えているか教えてください。

(事務局 安部)

現在も配食サービスを行っておりますので、それを継続していくということです。今回健康長寿につながるという方針がありますので、高齢者の取組みを追加記載しました。

(林委員)

公費を使ってですか。本人負担ですか。

(事務局 安部)

本人負担は一部ございます。

(林委員)

それは、希望者を募っているのですか。

(事務局 安部)

申し込みによります。

(林委員)

昼食ですか。夕食ですか。

(事務局 安部)

夕食が1回になります。栄養バランスを考え、見守りも含めたものになっています。

(梅木会長)

ありがとうございました。他にも私から確認があります。行動目標に減塩ではなく適塩にした理由は県に合わせるということでしたが、今後共通認識

が必要かと思いますが、適塩の定義を教えてくださいよろしいでしょうか。

(事務局 古谷)

「減塩」はおいしくないとかマイナスのイメージが多く広がっているところですが、「適塩」は、適した塩分量、その人に合った塩分量で美味しくヘルシーにというところで、「適塩」という言葉を使わせてもらいました。食育推進計画に盛り込むことで、この「適塩」という言葉がより市民の皆さんに広まるとよいと考えています。

(梅木会長)

男女別でも目標量が違ってきていますので、自分に合った塩分量がどの位かと知っていただくきっかけにもなるので、言葉が変わったところがチャンスかと思いますが、広めていけたら良いと思いました。

続いて④⑤で具体的な数字の記載ありますが、野菜はたくさん召し上がっていただくのに問題はありますが、果物に関しては、一部疾患をお持ちの方にはあまりたくさん勧められないため、計画書に記載する時には注釈等を書き加えていただきたいと思います。

(児島校長)

学校等の取組みに「早寝・早起き・朝ごはんが実践につながるよう啓発します」と記載がありますが、夏休みに早寝・早起き・朝ごはんのキャンペーンカードを配布しても、実践につながるには保護者の意識改革が必要であることから、なかなか実践に繋がるのは難しいと感じているところです。良いアイデアがありましたら教えてほしいです。

(梅木会長)

学生の授業で、自分の出身の自治体の食育計画や取組みを調べて発表する授業を行ったのですが、「早寝・早起き・朝ごはん」の取組みで面白いと感じたのがありました。朝ラジオ体操をする日程が決まっていて、参加したらよくシートにシールを貼るとかありますが、その地域では、そのシートのシールの箇所がお米の形になっていて、さらにお米の胚芽の所まであって、ラジオ体操に参加したらお米の所にチェックが入って、朝ごはんを食べたら胚芽のところにも色を塗ることができ、朝起きたらラジオ体操で運動し、さらに朝ごはんを食べるということをセットでチェックできるようなシートを作っているとのことで、塗りたいということで実践へ繋げる取組みでした。

朝ごはんは家庭でとるので、準備されてなければ摂れないこともあります。ご家庭での意識改革も必要になりますし、準備されてない時にどうするか、あるいはお子さん自身が自分でどうするかということもあると思うので、今後そういったところも課題だと思います。取組みのところで、いろいろ工夫を凝らしながら今後進めていっていただきたいと思います。

記載することで、みんなで意識を揃えることが大事なことかと思いますが、文言としては残していくけれども、実践はなかなか難しい所であるとい

う課題を持って、今後取組みを皆さまご協力のもと進めて参りたいと思っております。

他にはいかがでしょうか。

続いて資料3ページに参ります。

基本方針は変更なし、具体的な取組みでは、親子料理教室では食に関する作法の継承のところまでは現在していないということで、削除するとの説明でしたが、よろしいでしょうか。

(中島委員)

地域で子ども料理教室をしていて、マナーなども伝えています。昔は大家族でおじいちゃんおばあちゃんが作法を伝えていたりしていたと思います。が、今は核家族で食事時間に両親が居なくて孤食であったり、飲食店でもよく見かけますが、携帯電話を見ながら、ながら食いをしていたり、肘をついて食べたりしている子どもを見かけることがあります。「いただきます。ごちそうさま。」以前より、今の時代の子どもは食べ物に感謝して食事をするのも知ってほしいので、マナーを伝える場が必要で大事だと思っています。

(梅木会長)

作法の継承については国の施策でも残っているところで、市の取組みでも行動目標と学校等での取組みでは残っているところです。市の親子料理教室の取組みとして、元々食文化を次世代につなげるという方針の中で、作法のことまでは伝える機会がなかなか取れず削除案を出されたかと思いますが、たくさんの方を家庭へ伝える中で、家庭での食文化と作法を広げるということではやはり残していただきたいというご意見でした。

(林委員)

私も残してほしいに賛成です。飲食店で箸の持ち方や肘をついていたたり、マナーの悪い親子を見かけます。堅苦しい作法ということではなく、マナーという言葉に変えて残してほしいと思います。親子料理教室を通して、食に関するマナーの継承等、家庭への食育の広がりを促進します。と文言を変えて、親子料理教室で習ったことを家に帰り家族へ伝え、食文化を次世代へ伝えていただきたいと思います。

(梅木会長)

お二人の委員から、市の具体的な取組みとしても親子料理教室等で、作法の継承を残してほしいとのことでしたので、プロジェクト会議等でも、もう一度意見等をお願いいたします。

続いて4ページをご覧ください。

4ページの方針案では、前回会議で、「地域の自然環境をみんなで守る」は残してほしいとのこと、残すことが採用になったとのこと。

具体的な取組みで加えられた部分が多いというところで、アンケートに基づき、災害時に備えた食品の備蓄等に関して今後課題になっているということが市民アンケート等で明らかになりましたので、追加するという提案、また、安心安全な環境を作るという基本目標に、食物アレルギーに関する正しい知識の普及を追加するというところでよろしいでしょうか。

(委員全員)

賛同

(梅木会長)

では、地域の自然環境をみんなで守るところの取組み案で、本日配布資料の「福津市地球温暖化対策実行計画」の食に関する部分の、3キリ運動等を食育推進計画にも新たに記載していきたいという新たな提案でしたけれども、こちらについてはよろしかったでしょうか。

(委員全員)

賛同

(梅木会長)

別の計画の中で重ねて記載があることは、色んな場面で目に触れることが多くなるということで追記することに賛成します。文言について3キリや4Rについては、追記説明が必要かと思います。

続いて5ページをご覧ください。

前回会議でも方針に関して変更なしということで同じですが、具体的な取組み案では追記修正がされています。食進会は、これまでも市の中で色々な場面で食育を展開していただく中心的な団体ではございますが、色々な団体が増えて活発に活動していただいているということです。文言を修正されたとのことでした。こちらについてはよろしかったでしょうか。

では次に、「これも食育」の「SNSを利用した幅広い情報発信」というところで、市民アンケートでも食育のイベントを知らなくて参加できなかったというケースを減らしたいという課題がありますので、SNSは現在も利用して広報していただいています。こちら時代の流れに沿って追記したいということです。よろしかったでしょうか。

基本方針に戻りますが、「食育を広める情報を発信する」という言葉が1次ではありましたが、2次では「これも食育の啓発」と変わってきております。「これも食育」ということについては、当時の委員にお聞きしました所、「食育」というと構えてしまいますが、日常の取組みから始めていこうという気持ちを込めて「これも食育」という言葉を提案したとお聞きしております。そういった身近なところから始めてもらうという意味で「これも食育」という言葉はそのまま継続ということではよろしいでしょうか。

(委員全員)

賛同

(梅木会長)

細かい所を確認しましたが、全体通して何かご意見がございましたらここでいただきたいのですが、よろしいですか。本日参加いただいている委員の皆さまには、具体的な取組みの生産者・事業者・保育所・幼稚園・学校・地域・ボランティア団体の取組みを今後できることから、ひとつずつ取組んでいただきたいところですので、また改めてみていただいて、もう少し説明を加えたいとか、わかりやすい表現に変更したいとか出てきましたら今後の会議でご意見いただきたいと思います。

また行動目標については「みんなができること」で市民の皆さまひとりひとりに、市、生産者等の具体的な取組みとございますが、こちらについてはまた改めて見直していただき、方針についてはこれでよろしいでしょうか。

では次回の会議から指標等の検討に入りますので、そこでご意見ございましたらよろしくお願いいたします。

それでは議事は以上になりますので、事務局へお返しいたします。

7. その他

(事務局 丸山)

その他の資料に関して、

資料3 「第2次福津市食育推進計画」に沿った各課の進捗状況

資料4-1 令和8年度の食のイベントカレンダーまとめたもの

資料4-2 食のイベントカレンダーのホームページ掲載内容

資料5 令和8年度の食育関連の広報掲載内容

(事務局 安部)

会議録については、事務局で作成し、梅木会長にご確認いただいたあとで委員の皆さまへお送りいたします。

最後に事務連絡です。

第2回会議は7月31日（金）に開催予定で、指標と素案について協議したいと考えています。

庁内会議や議会への報告を経た後、1カ月間のパブリックコメントを実施し、第4回会議で最終答申案の確定を予定しています。